

17, September

英語を楽しく



☆ 単語 と 単語+S のちがい

英語を話していて

“What animals do you like?”

“I like dog.”

と聞かれて、もしも、
と答えたら、相手はびっくり!

それは dog と言ったからです。なぜなら、?

-s のない dog では「食用としての dog が好き。」という意味になるからです。「犬が好き。」というのなら答え方としては “I like dogs.” です。

このようにな s をつける、つけないかで意味が違ってくるのは、おそらく多くの人は知っているはず、だって、

I like chicken. と言えば、食べるチキンを思うでしょう。

chicken には s がついていませんね。もし、「生きた鶏が好き。」というのなら “I like chickens” です。

このようにわざわざ意識しなくても我々が正しい英語を使っているのは、うれしいことと思います。

そこで、ちょっと豆知識

「chicken」にはこんな意味、使い方もします。

〈おく病者、弱虫〉

“You chicken!” 「やーい、弱虫。」です。



注 “You, chickens!” と言うと「おまえ達、にわとり。」となって、お医者さんに行くことを勧められます。→視力検査かも?

にわとりは、英語圏でもいい印象を持たれていないようです。日本語でも「あの人は鶏みたいにばたばたしていて落ち着かん人や。」と言いますから。その割には、鶏の肉を ケッコウたべますが。

さて、雄牛 bull, 雌牛は cow. dog (一般には雄雌の区別をしないが) は雄犬, 雌犬は bitch, 子犬は puppy. 猫は cat, 子猫は kitten.

なぜ、このようにわかるのかははっきりした理由はわかりませんが、どうも人間に親密な動物には上記の様に雌雄、子動物の言い方を変えるようです。

馬だって horse おす馬, mare めす馬, 子どもの馬は colt です。ところで、トラは? tiger (雌雄の区別なし。でも、どうしても雌のトラと言いたいときは tigress と言います。) ちょっと待って、人間の男優を actor、女優を actress と言います。すると、人間はトラなみ?

actor (男優)

actress (女優)

tiger (雄トラ)

tigress (雌トラ)

あらわたし
人間なみね



tigress

actress

Yoshi